

主な内容

12月定例議会のあらまし	1
市長提出議案の主な内容、委員会提出議案	1
議員提出議案、議会日誌	1
一般質問	2~6
審議された議案と陳情の議決結果	6
全員協議会から、特別委員会から	6
災害対応訓練	6
2月定例議会会議予定	6

令和6年青梅市議会定例会 12月定例議会

一般会計補正予算など29議案を原案どおり可決しました!



令和6年12月定例議会は、12月4日から12月20日までの17日間の期間で行われました。初日の本会議では、議案審議の後、一般質問が始まりました。一般質問は、12月4日、5日および6日の3日間にわたって行われ、21人の議員が登壇し、市政に関して市長、教育長らと活発な議論を交わしました。

上程された議案は、市長提出議案が令和6年度の補正予算2件、条例7件、契約7件、その他9件の全25件、議員提出議案2件、委員会提出議案2件で、いずれも原案どおり可決されました。

また、陳情3件が審議され、いずれも趣旨採択となりました。

市長提出議案の主な内容

- 令和6年度青梅市一般会計補正予算(第5号)
歳入歳出予算にそれぞれ4億9708万6千円を追加し、その総額を632億9283万6千円とするほか、繰越明許費1件を設定、債務負担行為5件を追加する。
- 【主なもの】
▽ガバメントクラウド利用開始に向けたネットワーク構築委託料を追加▽自立支援給付経費における介護給付費、訓練等給付費等の増▽創エネルギー住宅改修補助金の増▽校内の通信環境整備に係るネットワークアクセスメント実施委託料を追加
- 青梅エクストリームスポーツパークの指定管理者の指定について
【指定管理者となる団体】株式会社フクシ・エンタープライズ
- 【指定の期間】令和7年4月1日から令和11年3月31日まで
- 釜の淵公園鮎美橋塗装塗替等工事にかかる契約の締結について
【契約の方法】制限付一般競争入札
- 【契約金額】

1億7334万9千円
【契約の相手方】山谷塗装株式会社

■青梅市新学校給食センター(仮称)新築工事等にかかる契約の締結について
【契約の方法】制限付一般競争入札

【契約金額】24億1461万円

【契約の相手方】大日本土木株式会社
立川営業所

【契約金額】5億7335万8500円

【契約の相手方】株式会社大三洋行

【契約金額】16億8300万円

【契約の相手方】八重洲工業株式会社

委員会提出議案

■青梅市議会委員会条例の一部を改正する条例(施行日)公布の日
大規模な災害等の発生等または重大な感染症のまん延時に、委員会をオンラインによる方法により開催することを可能にするため、開会方法の特例を定める。

■青梅市議会会議規則の一部を改正する規則(施行日)公布の日
大規模な災害等の発生等または重大な感染症のまん延時に、委員会をオンラインによる方法により開催する場合の所要の規定の整備を行うとともに、全員協議会等の開会方法の特例を定める。

議員提出議案

■公営競技納付金制度の廃止に関する意見書
議員提出による意見書案が12月4日の本会議において全会一致で可決され、同日付けで衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、国土交通大臣へ送付しました。

【意見書要旨】

公営競技納付金制度については、昭和45年度に10年間の時限措置として導入後、累次にわたり期限延長されているが、十分に所期の目的は達せられたと考える。また、今後も健全なモーターボート競走事業の経営のために、大規模災害への備えや新たな社会課題への対応に係る事業費の確保も必要であり地方公共団体をとり巻く環境は変化しているため、公営競技納付金制度を廃止するよう国へ強く要望する。

■ぬのや和代議員に対する問責決議
議員提出による決議案が12月20日の本会議において全会一致で可決されました。

【決議要旨】

ぬのや議員の事実を確認しない不適切な発言、SNSへの事実と異なる投稿や公務等に対する遅参等の行動に対し、猛省を促すとともに、議員としての責務を認識し、その責任を強く問う。

※意見書・決議の全文はホームページに掲載しております。

議会日誌

- 【11月】
20日 青梅市議会災害対応訓練
25日 議会運営委員会
【12月】
3日 文化複合施設整備特別委員会
議会期間 12月4日~20日 (17日間)
4日 議会運営委員会
本会議(開議、会議録署名議員の指名、議会期間の宣告、諸報告、議案審議、陳情審議、一般質問)
5日 本会議(一般質問)
6日 本会議(一般質問)
議会運営委員会
9日 総務企画委員会
環境建設委員会
福祉文教委員会
10日 文化複合施設整備特別委員会
11日 議会運営委員会
予算決算委員会
全員協議会
20日 総合病院建替特別委員会
議会運営委員会
本会議(諸報告、委員会議案審査報告、委員会陳情審査報告、議案審議閉議)

12月定例議会

贈らない
求めない
受け取らない

政治家、有権者の方へ
政治家が、選挙区内の人にお金や物を贈ることは法律で禁止されています。また、有権者が政治家に寄付を求めることも禁止されています。

例えば・・・
地域の行事やスポーツ大会、自治会の集い、盆踊りや旅行などの催し物へのおみやげや飲食物の差し入れ
お祭りへの寄付や差し入れなど



一般質問

青梅市議会ホームページの議会映像配信にて一般質問のすべての内容を映像で視聴いただけます。



市民後見人の育成等について問う

鴻井 伸二 議員 (公明)



議員 ①青梅市の地域連携ネットワークの取組は、成年後見制度利用促進審議会の開催状況は、

②成年後見人等への報酬費用助成を、本人や親族申立ても対象としては、地域連携ネットワークづくりや法人後見の在り方を、社協としっかり協議してほしいが、成年後見制度利用促進審議会の在り方を見直すべきでは、

③市民後見人育成の取組は、

市長 ①社会福祉協議会に中核機関の設置、運営を委託しており、社協が成年後見人等の受任調整の場や各関係機関等とのケース会議等に参加するなど連絡、調整を行っている。審議会は、昨年度3回開催し、主に成年後見制度利用促進基本計画について御協議いただいた。

②助成対象の見直しに向け、取り組んでいる。社協とは十分協議、連携を図り、本市としてふさわしい在り方を構築していく。審議会は法に基づき、制度の利用促進に関する基本的事項を調査審議する場であり、引き続き御協議いただく。

③社協と協議を進めている。育成研修に当たっては、「おうち生活サポーター」にも周知等を

行い、人材確保等に努めていく。

青梅駅前等の諸課題について問う

議員

①駅前再開発ビルテナントの入居が芳しくない理由は、市としての取組は、キネマ通り跨線橋架け替え工事の影響は、

②駅前の駐車場対策として、駐車枠の設置や、ロータリーを整備しては、釜の淵エリアの今後の取組は、

市長 ①賃貸料や初期費用が高む等の理由により、進んでいないと聞いている。引き続き再開発組合と情報共有し、協力していく。近隣住民への説明等を十分に行い、日常生活に支障のないよう努めていく。

②関係機関と協議していく。釜の淵エリアについては、引き続き地域住民の声を丁寧にお聞きし、安全対策にも配慮して整備方針を定めていく。

文化と歴史でまちを元気に

議員

①NHK連続テレビ小説「ばけげん」の放送を機に、雪おんな伝説の地として宣伝してはどうか。美術館改修中の市民との文化交流事業の開催は、休哲様の祠等を文化財として指定できないか。

②浸水時に、郷土博物館の収蔵品の広域避難を実施しては、

③文化と歴史でまちを元気にしてほしいが、市長の考えを伺う。市長 ①好機と捉え、来訪者の増加に向け取り組んでいく。③雪おんな伝説等、親しみやす

議員名の()内の表示は、会派名または党派名です。
 (自 民)…自民クラブ
 (公 明)…公明党
 (フォーラム)…市民フォーラム青梅・都民ファーストの会
 (緑の会)…都民ファーストの会
 (共 産)…日本共産党青梅市議団
 (維 新)…日本維新の会
 (立 憲)…立憲民主党

用語の解説

注1…ギフテッド(4ページ・片谷議員)
 先天的に高い知能や特定の才能を持つ人。

注2…トレイルカメラ(5ページ・山崎(勝)議員)
 動物の熱を感知して自動で撮影するカメラ。

注3…令和の梅(5ページ・藤野議員)
 元号「令和」の考案者とされる国文学者の中西進先生が、梅の里再生復興のシンボルとなるよう万葉集から命名した6本の梅。

注4…ロールモデル(6ページ・野島議員)
 役割を担うモデル。模範、手本。

市民の命と財産を守る防犯の取組について問う

寺島 和成 議員 (自民)

議員 ①青梅警察署や青梅市防犯協会との連携の取組状況は、

②公共施設や市道の防犯カメラの設置状況とその効果は、

③市民向けの防犯施策は、

④防犯対策品の購入にかかる補助金創設の考えは、

市長 ①毎月青梅警察署と防犯連絡会を開催しているほか、共同で防犯情報の周知を行っている。市、青梅警察署、青梅防犯協会では、駅頭などで啓発活動を合同で実施している。

②本庁舎や小中学校、通学路等に設置しているほか、飲料メーカーと協定を締結し、防犯カメラ付き自動販売機が、公園や自転車等駐車場などに設置されている。犯罪の抑止に一定の効果があると捉えている。

③地域団体への防犯カメラの設

青梅市の観光施策について問う

議員

①おうち観光戦略の取組状況は、

②来訪者の回遊性向上の取組を伺う。東京アドベンチャープロモーション協議会の取組状況は、

③災害時の来訪者への対応は、

市長 ①今年度は、「おうち観光戦略推進懇話会」を設置し、幅広く議論いただいている。都の事業を活用し、データの取得、分析、活用について専門アドバイザーによる支援を受け、研究事業に取り組んでいる。

②おすすめコースを掲載した観光ガイドの配架依頼や、西多摩地域広域行政圏協議会でも新たな事業について協議を進めている。東京アドベンチャープロモーション協議会では、インスタグラムによる魅力発信などを実施している。

③「青梅市地域防災計画」に基づき対応しているが、インバウンド需要の高まりから、外国人などへの対応が必要であると認識している。本市のインバウンドの実情について、データ分析による把握を進めており、必要な対策を講じていく。

DX推進の取組について問う

市内の落ち葉清掃の在り方について問う

中野 芳則 議員 (自民)

議員 ①落ち葉の清掃について、市民からの要望や相談はあるか、市の対応の現状は、

②市民が団体や個人で落ち葉を清掃することに對する考えは、

③環境美化に協力している市民にプロアーなどの器具、用具の貸出を検討できないか。

市長 ①落ち葉の時期には、公園、緑地の周辺道路等に落ち葉が散乱し、近隣の方から清掃の要望をいただくことがある。落ち葉清掃は地域の皆様の御協力に頼らざるを得ない状況であり、美化デー制度やボランティア袋制度を御利用いただき、ごみ処理手数料を免除するなどの支援を行っている。

②数多くの皆様にボランティア活動として担っていただいております。これら市民等の活動により、地域ごとの環境が保たれ、豊かな自然環境を保全できていることに対し、大変感謝している。

③貸出用具の選定や、維持管理方法などの課題もあることから、他自治体の実例を調査し、研究していく。

釜の淵公園周辺環境の整備と活用について問う

議員

①サウンディング調査と地域住民の声を受けて、今後どのような整備を考えているか、

②リープ・ノー・トレイス・ジャパンとの今後の展開は、

③釜の淵公園周辺を「仮称」環境倫理プログラム推奨モデル地区」に指定し、計画的に整備を進めてはどうか。

市長 ①現在、地元からの意見やサウンディング調査の結果を参考にするともに、国土交通省京浜河川事務所とも協議を行い、今後の方策を検討している。

②近隣の自治体職員との合同研修の実施や、市内小・中学校での環境倫理プログラムの授業等も予定している。引き続き、ごみ放置対策マネーアップキャンペーンなどを実施していく。

③リープ・ノー・トレイス・ジャパンと協議をしていきたい。

今井1丁目内の学校法人の合宿施設跡地について問う

迫田 晃樹 議員 (自民)

議員 ①今井1丁目内の学校法人合宿施設跡地が売却されたの情報を耳にしたが事実かどうかの記載は、面積は、

②当該地の今後の活用計画等について、情報提供や相談を受けたり、指導等を行った経緯は、

③周辺環境への悪影響も懸念されるため、市は未然防止策を講じる必要があると思うがどうか。

市長 ①現在の所有権は当該学校法人であるが、令和6年5月31日付で「所有権移転請求権」の仮登記がされており、将来、所有権の移転が推察される。面積は約31ヘクタールである。

②現在、市からお伝えできるところではない。

③事業計画の相談があった場合には、適切に対処していく。

市内における大規模蓄電施設の設置基準等について問う

議員

①国内における、法人事業者による大規模な蓄電施設の設置例について伺う。

②市内で、蓄電設備単体で設置している事例はあるか。補助金の対象となるか。

③他人の所有地を横切って発電施設と蓄電施設を繋ぐ方策は、

④大規模な蓄電施設設置の許可に関わる市の権限は、青梅市環境基本条例の規則の整備は、

市長 ①滋賀県米原市に、国内最大級の蓄電所の建設が進んでいる。一般家庭4万8千世帯が1日に使う電力を蓄えられることである。リチウムイオン蓄電池コンテナを140台設置するほか、多目的広場も整備することである。

②現在、把握しているものはない。国および都に、導入を支援する助成制度がある。

③上空や地下で電線を繋ぐことは、土地所有者の同意や法的条件をクリアすれば可能であると考えられる。

主権者教育について問う

長谷川 真弓 議員 (公明)



議員 ①青梅市の主権者教育は、令和3年と6年の衆議院議員選挙の全体の投票率と18歳、19歳の投票率およびその比較を伺う。

②意見交換会での子どもたちの市に対する意見は、どのように反映されているか伺う。
 ③平成27年から令和元年まで行われていた「こども議会」の内容は。

④児童生徒が主権者としての意識をもち、社会に巣立っていきけるようにするための方針は。

教育長 ①授業や特別活動を通して、必要な知識を習得させ、主権者として求められる力を発達段階に応じて育成している。
 ②学校や社会の課題について、主体的に考え、自力で解決していく経験が大切である。機会を通して指導していきたい。

選挙管理委員会事務局長 ①全体は、令和3年55・18%、6年53・31%で、1・87ポイントの減、18歳は、令和3年48・59%、6年42・02%で、6・57ポイントの減、19歳は、令和3年40・46%、6年32・46%で、8・00ポイントの減である。

市長 ②総合長期計画の策定や、各計画における施策を検討していく際に、参考としている。
 ③議会制民主主義に対する理解を深めるとともに、いじめ根絶に向けた意識向上を図るため、議場において実施していた。

熱中症対策について問う

議員 ①市内の熱中症による救急搬送人数と65歳以上の人数、発症場所は。
 ②涼み処の設置状況は。リスクの高い高齢者に対する取組は。
 ③高齢者のエアコン設置に対し、補助事業が必要では。

市長 ①令和6年10月7日現在85人で、うち65歳以上は49人であった。発症場所は令和5年実績で、住宅等39・5%、道路・交通施設等が30・7%であった。
 ②令和6年度は、42か所に設置し、のぼり旗等を掲示した。高齢者に対しては、広報、介護予防教室等で注意喚起を行った。

③市では、助成を行っていない。都の「東京ゼロエミポイント」を付与する事業を周知していく。

小型家電の回収とリサイクルの取組について問う

議員 ①市における使用済み小型家電回収量の推移は。
 ②西多摩他市の使用済み小型家電回収量は。本市で再資源化された量は。
 ③レアメタルの種類、回収量の見える化を図り、市民の意識を高めるよう周知が必要では。

市長 ①平成30年度約235t、令和元年度217t、2年度156t、3年度148t、4年度133t、5年度127tである。
 ②福生市約41t、羽村市57t、あきる野市55tである。本市だけの資源化量は把握できない。
 ③今後、グラフでの見える化など工夫して、周知に努めていく。

幼稚園や保育園等の給食費無償化について問う

議員 ①給食費の内訳、保護者負担、支払い方法は。市からの補助金の支給方法は。
 ②副食費の保護者負担を無くす場合に必要予算は。
 ③副食費の保護者負担を無くすべきと考えるが、市長の見解は。

市長 ①主食費と副食費に分かれる。幼稚園は、給食の提供が任意であり、保護者負担は、幼稚園や園児ごとに異なる。保育所等では必須であり、0から2歳児は、保育料に含まれる。3歳児以降は、保育所等が保護者に直接負担を求めることとなっている。市は、副食費を、月額2千円を上限に補助している。

支給方法は、幼稚園は償還払い、保育所等は、直接保育所等へ交付する法定代理受領である。
 ②年間約1億円を見込んでいます。
 ③副食費の無償化を検討する。

青梅交通安全協会への支援の拡充について問う

議員 ①青梅交通安全協会の活動と市の評価について伺う。
 ②寄付が減り、協会の活動資金が減少していることを把握しているか。市補助金の交付基準は。
 ③補助金の返還と用途目的は。
 ④協会と市の連携は。

市長 ①全国交通安全運動期間中の街頭指導、各種行事での交通規制支援等を行っている。安全・安心で住み良いまちづくりに寄与しているものと高く評価している。
 ②収支が厳しい状況であることは把握している。「青梅交通安全協会事業補助金交付要綱」に補助対象経費を掲げている。
 ③昨年度、948万円余を交付、180万円余の返還を受けた。用途目的は、交通安全の意識の普及、啓発および指導のための事業に要する経費等と定めている。補助金が有効に活用できるような情報共有していく。
 ④交通安全講習会等の共催、周知など、活動を支援しており、今後も協会や関係各所と連携・協力を図っていく。

市内の公園の在り方について問う

議員 ①市内の都市公園や緑地、児童遊園の面積は。
 ②公園遊具更新の選定基準は。わかぐさ公園の芝生エリアの整備について、市の見解は。
 ③安全確保のため、公園の外周にフェンスを設置しては。
 ④公園等の利用人数の調査の実施は。地元の利用者の声を聴く機会を。利用者の少ない公園について、今後の対応は。

青梅市ゆかりの雪女伝説に関する取組について問う

議員 ①ロケテリウムについて、市の見解は。効果について、どう把握されているか伺う。
 ②市内で実施された雪おんな伝説にかかる取組は。
 ③今後のイベントの実施予定は。
 ④「ばけばけ」の放送にあわせて、菊池玉雲さんの講演会などのイベントを提案したいがどうか。市長自ら話題性のある発信を行っていただきたいが。

市長 ①「おうめ観光戦略」における考えと一致するものであり、来場者数の増加などが期待できるものと捉えている。
 ②小泉八雲氏の曾孫である小泉凡氏を迎えたパネルディスカッションや、「雪おんな縁の地」の碑の建立などが行われている。
 ③現在、検討を進めている。
 ④参考にさせていただき、本市をアピールする好機と捉え、自ら先頭に立ち、取り組んでいく。

①総面積は、約75・69ヘクタールとなっている。
 ②現行と同一種類・規模で異なる遊びができる遊具の候補を地元の自治会に提示して、御意見を伺い選定している。現在、整備の予定はないが、来園者が快適に過ごせるよう管理していく。
 ③低木の寄せ植えなどで安全性の確保を検討していく。
 ④調査は行ってない。各種イベント等でのアンケート調査で、ニーズの把握に努めている。青梅市公園条例を踏まえ、公園の在り方について検討していく。

青梅市ゆかりの雪女伝説に関する取組について問う

議員 ①ロケテリウムについて、市の見解は。効果について、どう把握されているか伺う。
 ②市内で実施された雪おんな伝説にかかる取組は。
 ③今後のイベントの実施予定は。
 ④「ばけばけ」の放送にあわせて、菊池玉雲さんの講演会などのイベントを提案したいがどうか。市長自ら話題性のある発信を行っていただきたいが。

市長 ①「おうめ観光戦略」における考えと一致するものであり、来場者数の増加などが期待できるものと捉えている。
 ②小泉八雲氏の曾孫である小泉凡氏を迎えたパネルディスカッションや、「雪おんな縁の地」の碑の建立などが行われている。
 ③現在、検討を進めている。
 ④参考にさせていただき、本市をアピールする好機と捉え、自ら先頭に立ち、取り組んでいく。

メタバースの活用について問う

議員 ①市内の広義のひきこもり状態にある方の人数、施策とその効果、市の見解を伺う。
 ②ひきこもり支援にメタバースを活用している自治体の取組を把握しているか。市の見解は。
 ③メタバース登校の取組事例を把握しているか。本市でも、今後検討の余地があると考えるか。
 ④長期入院等により、通学できない児童に対するメタバースを活用した支援について、見解は。

市長 ①約2200人と推計される。窓口、WEB相談フォーム等による相談等を行っている。伴走支援をしながら社会参加へ繋いでいくことが、効果と捉えている。青梅市地域福祉計画における「参加支援事業」として、相談や支援を行っていく。
 ②江戸川区の取組は承知している。リアル会場とのハイブリッド型で開催し、専門家のコーディネートにより対話を行うことで、居場所を作るものであり、先進事例の情報収集を行い、WEB相談フォームの実績、効果を検証し、より効果的な施策を研究していく。
 ③取組は承知している。取組状況等について情報収集し、研究を進めていく。
 ④オンラインを活用した支援を既にしている。より良い支援となるよう、他自治体等の取組について、情報を収集していく。

住宅確保要配慮者の居住支援について問う

議員 ①居住支援協議会とは。設置に向けての取組は。
 ②多摩26市の設置状況、活動内容および効果は。
 ③不動産関係団体との連携はできているか。

湖城 宣子 議員 (公明)

①協議会設置のスケジュールと具体的な考えは。
 ②低額所得者、高齢者、障がい者等のうち、住宅確保要配慮者に対し、支援を実施する組織である。市では、他自治体の取組状況の把握に努めてきた。
 ③12市が設置している。相談の受付や物件の斡旋等を行っており、効果としては、行政だけでは解決できない課題等の解決などが挙げられている。
 ④住宅相談会の開催や空家バンクの運営等協力いただいている。
 ⑤令和7年度中の設置に向け、検討している。住宅確保要配慮者は、複合的な課題を抱えている場合が多く、包括的な支援体制とすることが重要である。

健康面で特別な配慮を要する児童等への支援について問う

議員 ①医療的ケア児の受け入れ体制、市内連携の状況は。
 ②医療的ケア児の校外学習等と登下校の送迎の現状と今後の対応は。
 ③健康面で配慮を要する児童等への日中の支援は。
 ④学校教育活動支援員の募集方法は。健康面で配慮を要する児童等の校外学習等への対応の現状と今後についての考えは。

教育長 ①対象児が在籍する小学校へ毎日看護師を派遣し、医療的ケアを実施している。各課で相談を受ける際、就学に関する内容が含まれる場合は、就学相談につなげている。
 ②学校外での医療的ケアは実施していない。参加は、保護者の同行を前提に、主治医の見解や、配慮すべき事項等を検討し決定している。現在の対象児は送迎を必要としない。先行自治体の事例などを参考に研究していく。
 ③各学校では、面談を通じて、配慮事項や支援方法を確認している。必要に応じて学校教育活動支援員を配置している。
 ④広報おうめ、ホームページ等で募集している。保護者が提出した「学校生活管理指導表」等を基に、学校長等が面談を行い、校外学習等について確認している。今後も引き続き、校長会等で、対応について徹底していく。

優良田園住宅制度について問う

議員 ①私が優良田園住宅制度の質問をしてから、大分時間が経っているが、これまでの市の対応は。東京都と何回協議を行ったか。
 ②関係課が一丸となって協議し、都に対して熱心に説明し、さらなる協力をお願いしてほしいが、これまでの協議内容と、都からの助言を踏まえた市の見解は。
 ③青梅市は、優良田園住宅制度を導入する考えはあるか。
 ④青梅市は、優良田園住宅制度を導入する考えはあるか。
 ⑤先進自治体である飯能市へのヒアリングや都からの助言を踏まえ、様々な視点から検討を重ねてきた。都の土地利用計画担当部署と、令和3年6月から3回協議を行っている。
 ⑥関係法令上の権限を有する都との協議では、「既存宅地制度」の活用や、市街化区域にある空き家等の対策を優先して土地活用を図るべきと助言を受けている。市北部地域のコミュニティ維持に向け、都からの助言を踏まえた「既存宅地制度」の活用や、空き家を活用した移住促進策を検討していきたい。
 ⑦まずは、成木地区などを対象とした既存宅地や空き家等の基礎調査に取り組みしていきたい。

①総面積は、約75・69ヘクタールとなっている。
 ②現行と同一種類・規模で異なる遊びができる遊具の候補を地元の自治会に提示して、御意見を伺い選定している。現在、整備の予定はないが、来園者が快適に過ごせるよう管理していく。
 ③低木の寄せ植えなどで安全性の確保を検討していく。
 ④調査は行ってない。各種イベント等でのアンケート調査で、ニーズの把握に努めている。青梅市公園条例を踏まえ、公園の在り方について検討していく。

青梅市ゆかりの雪女伝説に関する取組について問う

議員 ①ロケテリウムについて、市の見解は。効果について、どう把握されているか伺う。
 ②市内で実施された雪おんな伝説にかかる取組は。
 ③今後のイベントの実施予定は。
 ④「ばけばけ」の放送にあわせて、菊池玉雲さんの講演会などのイベントを提案したいがどうか。市長自ら話題性のある発信を行っていただきたいが。

市長 ①「おうめ観光戦略」における考えと一致するものであり、来場者数の増加などが期待できるものと捉えている。
 ②小泉八雲氏の曾孫である小泉凡氏を迎えたパネルディスカッションや、「雪おんな縁の地」の碑の建立などが行われている。
 ③現在、検討を進めている。
 ④参考にさせていただき、本市をアピールする好機と捉え、自ら先頭に立ち、取り組んでいく。

メタバースの活用について問う

議員 ①市内の広義のひきこもり状態にある方の人数、施策とその効果、市の見解を伺う。
 ②ひきこもり支援にメタバースを活用している自治体の取組を把握しているか。市の見解は。
 ③メタバース登校の取組事例を把握しているか。本市でも、今後検討の余地があると考えるか。
 ④長期入院等により、通学できない児童に対するメタバースを活用した支援について、見解は。

市長 ①約2200人と推計される。窓口、WEB相談フォーム等による相談等を行っている。伴走支援をしながら社会参加へ繋いでいくことが、効果と捉えている。青梅市地域福祉計画における「参加支援事業」として、相談や支援を行っていく。
 ②江戸川区の取組は承知している。リアル会場とのハイブリッド型で開催し、専門家のコーディネートにより対話を行うことで、居場所を作るものであり、先進事例の情報収集を行い、WEB相談フォームの実績、効果を検証し、より効果的な施策を研究していく。
 ③取組は承知している。取組状況等について情報収集し、研究を進めていく。
 ④オンラインを活用した支援を既にしている。より良い支援となるよう、他自治体等の取組について、情報を収集していく。

住宅確保要配慮者の居住支援について問う

議員 ①居住支援協議会とは。設置に向けての取組は。
 ②多摩26市の設置状況、活動内容および効果は。
 ③不動産関係団体との連携はできているか。

湖城 宣子 議員 (公明)

①協議会設置のスケジュールと具体的な考えは。
 ②低額所得者、高齢者、障がい者等のうち、住宅確保要配慮者に対し、支援を実施する組織である。市では、他自治体の取組状況の把握に努めてきた。
 ③12市が設置している。相談の受付や物件の斡旋等を行っており、効果としては、行政だけでは解決できない課題等の解決などが挙げられている。
 ④住宅相談会の開催や空家バンクの運営等協力いただいている。
 ⑤令和7年度中の設置に向け、検討している。住宅確保要配慮者は、複合的な課題を抱えている場合が多く、包括的な支援体制とすることが重要である。

健康面で特別な配慮を要する児童等への支援について問う

議員 ①医療的ケア児の受け入れ体制、市内連携の状況は。
 ②医療的ケア児の校外学習等と登下校の送迎の現状と今後の対応は。
 ③健康面で配慮を要する児童等への日中の支援は。
 ④学校教育活動支援員の募集方法は。健康面で配慮を要する児童等の校外学習等への対応の現状と今後についての考えは。

教育長 ①対象児が在籍する小学校へ毎日看護師を派遣し、医療的ケアを実施している。各課で相談を受ける際、就学に関する内容が含まれる場合は、就学相談につなげている。
 ②学校外での医療的ケアは実施していない。参加は、保護者の同行を前提に、主治医の見解や、配慮すべき事項等を検討し決定している。現在の対象児は送迎を必要としない。先行自治体の事例などを参考に研究していく。
 ③各学校では、面談を通じて、配慮事項や支援方法を確認している。必要に応じて学校教育活動支援員を配置している。
 ④広報おうめ、ホームページ等で募集している。保護者が提出した「学校生活管理指導表」等を基に、学校長等が面談を行い、校外学習等について確認している。今後も引き続き、校長会等で、対応について徹底していく。

優良田園住宅制度について問う

議員 ①私が優良田園住宅制度の質問をしてから、大分時間が経っているが、これまでの市の対応は。東京都と何回協議を行ったか。
 ②関係課が一丸となって協議し、都に対して熱心に説明し、さらなる協力をお願いしてほしいが、これまでの協議内容と、都からの助言を踏まえた市の見解は。
 ③青梅市は、優良田園住宅制度を導入する考えはあるか。
 ④青梅市は、優良田園住宅制度を導入する考えはあるか。
 ⑤先進自治体である飯能市へのヒアリングや都からの助言を踏まえ、様々な視点から検討を重ねてきた。都の土地利用計画担当部署と、令和3年6月から3回協議を行っている。
 ⑥関係法令上の権限を有する都との協議では、「既存宅地制度」の活用や、市街化区域にある空き家等の対策を優先して土地活用を図るべきと助言を受けている。市北部地域のコミュニティ維持に向け、都からの助言を踏まえた「既存宅地制度」の活用や、空き家を活用した移住促進策を検討していきたい。
 ⑦まずは、成木地区などを対象とした既存宅地や空き家等の基礎調査に取り組みしていきたい。

①協議会設置のスケジュールと具体的な考えは。
 ②低額所得者、高齢者、障がい者等のうち、住宅確保要配慮者に対し、支援を実施する組織である。市では、他自治体の取組状況の把握に努めてきた。
 ③12市が設置している。相談の受付や物件の斡旋等を行っており、効果としては、行政だけでは解決できない課題等の解決などが挙げられている。
 ④住宅相談会の開催や空家バンクの運営等協力いただいている。
 ⑤令和7年度中の設置に向け、検討している。住宅確保要配慮者は、複合的な課題を抱えている場合が多く、包括的な支援体制とすることが重要である。

健康面で特別な配慮を要する児童等への支援について問う

議員 ①医療的ケア児の受け入れ体制、市内連携の状況は。
 ②医療的ケア児の校外学習等と登下校の送迎の現状と今後の対応は。
 ③健康面で配慮を要する児童等への日中の支援は。
 ④学校教育活動支援員の募集方法は。健康面で配慮を要する児童等の校外学習等への対応の現状と今後についての考えは。

教育長 ①対象児が在籍する小学校へ毎日看護師を派遣し、医療的ケアを実施している。各課で相談を受ける際、就学に関する内容が含まれる場合は、就学相談につなげている。
 ②学校外での医療的ケアは実施していない。参加は、保護者の同行を前提に、主治医の見解や、配慮すべき事項等を検討し決定している。現在の対象児は送迎を必要としない。先行自治体の事例などを参考に研究していく。
 ③各学校では、面談を通じて、配慮事項や支援方法を確認している。必要に応じて学校教育活動支援員を配置している。
 ④広報おうめ、ホームページ等で募集している。保護者が提出した「学校生活管理指導表」等を基に、学校長等が面談を行い、校外学習等について確認している。今後も引き続き、校長会等で、対応について徹底していく。

優良田園住宅制度について問う

議員 ①私が優良田園住宅制度の質問をしてから、大分時間が経っているが、これまでの市の対応は。東京都と何回協議を行ったか。
 ②関係課が一丸となって協議し、都に対して熱心に説明し、さらなる協力をお願いしてほしいが、これまでの協議内容と、都からの助言を踏まえた市の見解は。
 ③青梅市は、優良田園住宅制度を導入する考えはあるか。
 ④青梅市は、優良田園住宅制度を導入する考えはあるか。
 ⑤先進自治体である飯能市へのヒアリングや都からの助言を踏まえ、様々な視点から検討を重ねてきた。都の土地利用計画担当部署と、令和3年6月から3回協議を行っている。
 ⑥関係法令上の権限を有する都との協議では、「既存宅地制度」の活用や、市街化区域にある空き家等の対策を優先して土地活用を図るべきと助言を受けている。市北部地域のコミュニティ維持に向け、都からの助言を踏まえた「既存宅地制度」の活用や、空き家を活用した移住促進策を検討していきたい。
 ⑦まずは、成木地区などを対象とした既存宅地や空き家等の基礎調査に取り組みしていきたい。

核兵器廃絶などの平和事業の取組について問う

議員 ①市長の核兵器廃絶や平和についての考えと、日本原水爆被害者団体協議会のノーベル平和賞受賞の受け止めを伺う。
 ②市は、日本政府が核兵器禁止条約に署名・批准するよう要請する必要があると思うが。
 ③「被爆者からあなたにいま伝えたいこと」を図書館分館や学校に配架すべきでは。核兵器廃絶の取組状況や課題は。
 ④「平和首長会議東京都多摩地域平和ネットワーク」の取組は。平和文化の概念は。市や教育委員会が平和運動に積極的に関わっていく考えは。

市長 ①平和とは、対話や協力を通じて、互いに信頼し合い、安全で安心して暮らせる社会を築くことにある。核兵器廃絶に向けた取組は極めて重要である。受賞は、大変意義深いことであり、心から敬意と祝意を表す。
 ②政府が判断すべき事柄である。
 ③非核平和都市を宣言し、ピーエスメッセージ事業等を実施している。全世代の平和意識の向上を図ることが課題である。
 ④若い世代対象の研修事業を予定している。市民一人一人が平和を願い、日常生活の中でできることを考え行動することである。市は、恒久平和と核兵器廃絶に向けた取組を推進してきた。
 ⑤発行年に中央図書館に配架し、貸出実績も少ないため、各分館へ配架する考えはない。学校へは情報提供していく。
 ⑥教育委員会としても、引き続き、適切に対応していく。

核兵器廃絶などの平和事業の取組について問う

議員 ①市長の核兵器廃絶や平和についての考えと、日本原水爆被害者団体協議会のノーベル平和賞受賞の受け止めを伺う。
 ②市は、日本政府が核兵器禁止条約に署名・批准するよう要請する必要があると思うが。
 ③「被爆者からあなたにいま伝えたいこと」を図書館分館や学校に配架すべきでは。核兵器廃絶の取組状況や課題は。
 ④「平和首長会議東京都多摩地域平和ネットワーク」の取組は。平和文化の概念は。市や教育委員会が平和運動に積極的に関わっていく考えは。

市長 ①平和とは、対話や協力を通じて、互いに信頼し合い、安全で安心して暮らせる社会を築くことにある。核兵器廃絶に向けた取組は極めて重要である。受賞は、大変意義深いことであり、心から敬意と祝意を表す。
 ②政府が判断すべき事柄である。
 ③非核平和都市を宣言し、ピーエスメッセージ事業等を実施している。全世代の平和意識の向上を図ることが課題である。
 ④若い世代対象の研修事業を予定している。市民一人一人が平和を願い、日常生活の中でできることを考え行動することである。市は、恒久平和と核兵器廃絶に向けた取組を推進してきた。
 ⑤発行年に中央図書館に配架し、貸出実績も少ないため、各分館へ配架する考えはない。学校へは情報提供していく。
 ⑥教育委員会としても、引き続き、適切に対応していく。

核兵器廃絶などの平和事業の取組について問う

議員 ①市長の核兵器廃絶や平和についての考えと、日本原水爆被害者団体協議会のノーベル平和賞受賞の受け止めを伺う。
 ②市は、日本政府が核兵器禁止条約に署名・批准するよう要請する必要があると思うが。
 ③「被爆者からあなたにいま伝えたいこと」を図書館分館や学校に配架すべきでは。核兵器廃絶の取組状況や課題は。
 ④「平和首長会議東京都多摩地域平和ネットワーク」の取組は。平和文化の概念は。市や教育委員会が平和運動に積極的に関わっていく考えは。

市長 ①平和とは、対話や協力を通じて、互いに信頼し合い、安全で安心して暮らせる社会を築くことにある。核兵器廃絶に向けた取組は極めて重要である。受賞は、大変意義深いことであり、心から敬意と祝意を表す。
 ②政府が判断すべき事柄である。
 ③非核平和都市を宣言し、ピーエスメッセージ事業等を実施している。全世代の平和意識の向上を図ることが課題である。
 ④若い世代対象の研修事業を予定している。市民一人一人が平和を願い、日常生活の中でできることを考え行動することである。市は、恒久平和と核兵器廃絶に向けた取組を推進してきた。
 ⑤発行年に中央図書館に配架し、貸出実績も少ないため、各分館へ配架する考えはない。学校へは情報提供していく。
 ⑥教育委員会としても、引き続き、適切に対応していく。

核兵器廃絶などの平和事業の取組について問う

議員 ①市長の核兵器廃絶や平和についての考えと、日本原水爆被害者団体協議会のノーベル平和賞受賞の受け止めを伺う。
 ②市は、日本政府が核兵器禁止条約に署名・批准するよう要請する必要があると思うが。
 ③「被爆者からあなたにいま伝えたいこと」を図書館分館や学校に配架すべきでは。核兵器廃絶の取組状況や課題は。
 ④「平和首長会議東京都多摩地域平和ネットワーク」の取組は。平和文化の概念は。市や教育委員会が平和運動に積極的に関わっていく考えは。

給食費の都補助金拡充における市財政への影響について問う

阿部 悦博 議員 (自民)



議員 ①都補助金の8分の7への拡充による、財政的な影響は。②給食費無償化の対象外となる「公立」以外に通う子どもたち等への対応について、新たな考えは。

③副食費補助金について、多摩26市で、幼稚園に通う子どもの保護者に支給している自治体、保育所等に通う子どもの保護者に、上限まで支給している自治体は。こどもまんなか応援基金を活用し、副食費の全額補助を検討しては。

④「全てのこどもが誰一人取り残されることのない」施策の実施について市長の考え、決意は。市長 ①拡充により、年間1億4千万余、市の負担が減り、更なる施策の実施が可能になる。②都の補助の拡充を機と捉え、対象の拡大を検討していく。

③幼稚園は、本市のほか、昭島市、小金井市、あきる野市の4市、保育所等は、武蔵野市、小金井市の2市である。副食費の無償化を検討していく。④保護者の負担軽減に加え、こどもたちが学び、遊び、成長するための環境を整えることが大変重要であると認識しており、これからも幅広い視点から取り組んでいく。

国民皆歯科健診に備えた市の考え方について問う

議員 ①成人に対する歯科検診の概要、受診者数は。②成人に対する歯科検診の多摩26市の状況は。③対象者を拡大、自己負担を無

料にするなど、現状を見直す考えはあるか。

市長 ①対象を20〜70歳までの5歳刻みとする成人歯科検診と、75歳以上の後期高齢者歯科健康診査に分かれる。内容は、問診、口腔内検査、予防指導で、歯科医院に直接予約し受診する。自己負担は500円である。令和5年度の受診者数は、成人歯科検診は272人、後期高齢者歯科健康診査は470人であった。

②対象年齢や受診方法など、市によって異なる。費用自己負担があるのは、本市を含む4市で、その他の市ではない。③他市の事例について情報収集するとともに、「国民皆歯科健診」の議論などを注視していく。

議員 ①本市におけるSNSや動画の活用状況、アカウントの相互連携は。②行政手続の説明や地域、歴史の紹介、伝統文化やイベントなどのコンテンツをアーカイブ化すべきと考えるが市の見解は。③各課でのSNSや動画の活用を横断的かつ戦略的に統括するセクションを設置することが有効と考えるが、市長の見解は。

市長 ①市政や観光情報等の発信、移住定住促進に活用している。また公式LINEで、InstagramやYouTube動画の公開を周知している。

議員 ①青梅市公式動画チャンネル等で一定のアーカイブ化はできているものと認識している。一方で、市の貴重な文化財や記録、取組など、アーカイブとして充

文化活動の継続的な推進について問う

議員 ①美術館改修、新市民ホール建設の現在の状況は。②他市施設を利用した教育・文化・芸術活動の状況は。美術館休館中の事業活動は。③市所有の文化財や民間施設の活用を促し、助成金などを用いて、文化芸術活動を継続推進すべきと考えるが、市の見解は。

教育長 ①美術館は、実施設計を完了し、今議会に工事契約の議案を提出。文化複合施設は、整備基本計画策定を進めている。②ダンスやバレエ、吹奏楽の団体が、「公共ホール等使用料助成事業」を活用している。本年度は、館蔵作家の作品の調査、収蔵品台帳の整備のため、大型作品の写真撮影を行った。

③今後も、市所有の文化財住宅を活用いただくことや、国や都などの助成制度の情報収集に努め、各団体の文化活動を支援していく。

議員 ①青梅駅周辺の総合的な計画の現状は。②再開発ビルの駐車場、跨線橋の架け替えおよび駅周辺の駐車場に関する課題や問題点は。③改めて総合的に利活用や開発計画を進めるべきと考えるが、市長の見解は。

市長 ①再開発ビルの工事は、順調に進んでいる。青梅鉄道公園は、記念館建設工事に着手、釜の淵公園周辺は、今後の方策

を検討している。通称キネマ通りは、東側の拡充が完了した。②店舗等利用者の駐車場がない、跨線橋の工事では、車両の迂回が必要となるなどの課題がある。

③歴史と文化等の地域資源を活かした魅力ある観光のまちの形成のため、総合的な視点が重要であると捉え、各種施策の推進に取組む。

教育長 ①駅周辺の駐車場は、特定の施設等の利用者専用でないため、確保が容易でない。②他の質問：「市役所庁舎内のWiFi環境の充実について問う」

議員 ①学校の外壁等改修工事の取組状況と今後の見通しは。学校プールの対応状況は。②改修工事を加速させる考えは。プールは全校調査を行い、現状を把握する必要があるのでは。

③学校プールの方針が決まるまでは、補修等が必要と思うが、④プール授業が継続して行えるよう緊急の対応が必要では。

教育長 ①外壁等改修工事は、校舎9校、屋内運動場3校で実施している。令和13年度までに改修を行う。学校プールも、必要に応じて対応している。

②引き続き、鋭意、改修工事を進めていく。令和元年度に調査を実施し、状況は把握している。③学校施設の再編案が決まるまでの間は、民間プールでの水泳授業を可能な限り拡大し、必要な修繕等も実施していく。④学校プールが使用不可となった場合には、近隣の学校プール

公共交通を利用できない市民の移動支援を

議員 ①福祉バスを利用していただく方から、予約が取りづらいと声を聞くが、把握しているか。②福祉バスの運行台数を増やすことが必要と考えるが課題は。③福祉タクシー券を導入しては。青梅市にあった多様な手段を常に模索していくことが必要では。

④庁内に移動支援を連携して検討する場を設けてはどうか。市長 ①状況は把握している。②事業者ではドライバー確保が難しいこと、市では台数増加分の経費は、都の補助対象外となる可能性が高く、財政的負担の増加が課題である。

③平成18年度に行財政改革の事業見直しで廃止した。既存の福祉バス運行事業や福祉有償運送サービスの継続、高齢者移動支援事業の充実を図っていく。他市の取組についても情報収集に努めていく。

④すでに「青梅市包括的支援体制整備等庁内検討委員会」を設置している。移動支援のあり方についても、地域生活課題の一つとして捉えている。

議員 ①ふるさと納税の収支状況は。②人気のある返礼品は。③活用状況は。④流出している市税等を減らす今後の取組は。

市長 ①令和5年度では寄付額

4257万円余、流出額2億5947万円余、必要経費が2221万円余で、収支はマイナス2億3911万円余となる。流出額の75%にあたる額が、普通交付税において措置され、理論上の収支はマイナス4500万円程度である。

②青梅マラソン大会の出場権、ホットマンのタオル、澤乃井の地酒セットなどである。③「子育て・教育」や「青梅の森の保全、整備」に活用している。④寄付額1億円を目標に返礼品を拡充し、全国への青梅の魅力発信に繋げることに注力する。

交通安全対策について問う

議員 ①本市での交通安全指導の取組は。学校でも、「ながらスマホ」の危険性を教えていた。②本年11月施行の改正道路交通法で自転車の酒気帯び運転、ながらスマホの罰則規定が設けられたが、市でもさらなる周知をしてはどうか。

市長 ①青梅警察署と連携し、小学生には自転車の安全利用マナー向上を目的とした自転車運転免許交付事業を、中学生にはスタントマンが交通事故を再現する「スケアード・ストリート方式」による自転車安全教室を実施している。大人には青梅交通安全協会および青梅警察署と連携し、誰でも受講できる交通安全講習会を実施している。

②広報おうちや公式LINE等さまざまな媒体で周知していく。教育長 ①「安全教育プログラム」をもとに、指導している。校長会等において、繰り返し指導を行うよう周知していく。

議員 ①ギフテッドと呼ばれる

学校法人日本航空学園について問う

議員 ①学園との連携等について問う。連携の効果や課題は。②包括連携協定の内容は。駿河台大学とも協定を締結したが、2校の連携の進め方は。③輪島市への支援の進め方は。④3年間の一時避難以降に向けた市長の思いは。

市長 ①産業観光まつり等のイベントへの参加、能登豪雨災害の時は、駅頭募金活動を合同で実施した。今後は、青梅マラソンへの招待出場等を予定している。多くの市民と良好な相互関係が図られている。キャンパスまでの交通の便等が課題である。②教育、文化、スポーツ、人材育成等に連携し取り組んでいく。合同イベントの開催や、学生同

士との交流の場を設けていきたい。③輪島市長と直接お話しし、市としての支援策を考えていく。④更なる交流を重ね、学生の夢の実現に向けた本市での学びの継続に、誠心誠意尽力していく。

議員 ①アンケート調査、関係団体との意見交換会の内容は。国の補助制度の活用、課題は。②人材確保について、対応は。補助制度活用のための対応は。③文化財等を活用し、伝統文化のイベントを企画しては。④伝統文化の継承に対する市長の思い、決意は。

教育長 ①会員や指導者の高齢化、後継者不足等の課題が挙げられた。「青梅市文化遺産活用事業実行委員会」の設立について協議した。活用実績はない。準備書類の対応等が課題である。②今後、先進自治体の状況を調査していく。実行委員会を構成する団体と連携し、適切に手続を行っていく。

議員 ①グリーンスローモビリティおよびマイタク事業の今後のスケジュールは。②新たな交通手段はあるか。③ライドシェアの市長の所見は。④地域公共交通改善制度の課題と今後の展開は。第2層協議体で検討できないか。

高齢者等の外出支援について問う

議員 ①グリーンスローモビリティおよびマイタク事業の今後のスケジュールは。②新たな交通手段はあるか。③ライドシェアの市長の所見は。④地域公共交通改善制度の課題と今後の展開は。第2層協議体で検討できないか。

市長 ①グリスロは実証運行やアンケートにより移動需要や課題を把握し、令和7年度中の本格運行に向けて検討を進めていく。マイタク事業は7年1月末から3月末まで試行を実施し、

士との交流の場を設けていきたい。③輪島市長と直接お話しし、市としての支援策を考えていく。④更なる交流を重ね、学生の夢の実現に向けた本市での学びの継続に、誠心誠意尽力していく。

議員 ①アンケート調査、関係団体との意見交換会の内容は。国の補助制度の活用、課題は。②人材確保について、対応は。補助制度活用のための対応は。③文化財等を活用し、伝統文化のイベントを企画しては。④伝統文化の継承に対する市長の思い、決意は。

教育長 ①会員や指導者の高齢化、後継者不足等の課題が挙げられた。「青梅市文化遺産活用事業実行委員会」の設立について協議した。活用実績はない。準備書類の対応等が課題である。②今後、先進自治体の状況を調査していく。実行委員会を構成する団体と連携し、適切に手続を行っていく。

議員 ①グリーンスローモビリティおよびマイタク事業の今後のスケジュールは。②新たな交通手段はあるか。③ライドシェアの市長の所見は。④地域公共交通改善制度の課題と今後の展開は。第2層協議体で検討できないか。

7年度に本格実施予定である。
 ②デマンド型交通や地域の輸送資源の活用を研究している。
 ③選択肢の一つと捉えている。
 ④地域人材の確保等が課題である。住民に制度を周知し、必要な支援を行っていく。情報を共有しながら、制度の活用を図り、課題の解決に取り組んでいく。

自転車ヘルメットの普及に向けた取組について問う

山崎 哲男 議員 (自民)



議員 ①自転車ヘルメットは、未だ購入率が低い。期間限定で補助金を増額してはどうか。
 ②自転車ヘルメット着用の効果的な周知について伺う。

市長 ①本市では、平成22年度から、13歳未満の幼児・児童用自転車ヘルメット1個につき2千円を上乗せして、購入費用を助成してきた。令和5年4月から、自転車利用者のヘルメット着用が努力義務化されたことに伴い、東京都では、市区町村がヘルメットの購入費用を補助する場合に、助成額の2分の1、1個あたり千円を上乗せに補助する事業を実施している。都内の多くの自治体がこの事業を活用し、2千円を上乗せして助成しており、本市でも同年10月から、助成対象を全年齢に拡大している。こうした状況から、現時点では増額する考えはない。
 ②青梅警察署や青梅交通安全協会など関係団体と連携しながら、広報おうえのみならず、SNSや動画配信サイト等さまざまな媒体を活用し、効果的な周知を図っていく。また、多くの市民が訪れるイベントなど機会をとらえて啓発活動を行い、ヘルメット着用の重要性を伝えていく。

ごみ処理について問う

山崎 勝 議員 (自民)



議員 ①三多摩清掃事業協同組合から東京都市長会に対して提出された要望書の受け止めは。都が行う市区町村と業者との契約内容の実態調査への対応は。都が検討しているごみ処理委託料の財政支援について考えは。
 ②令和7年度予算のごみ処理委託料について考えは。
 ③年末特別収集を行うことについて、どう考えるか。
 ④ごみ収集業者等との災害時における災害廃棄物処理等の協力に関する協定締結の考えは。

市長 ①一般廃棄物の収集運搬業者の実情が、切実に述べられており、重く受け止めている。調査等に適切に対応していく。都の支援に期待している。
 ②人件費など最新の実勢価格等を踏まえた委託料となるよう努めていく。
 ③収集運搬業務における働き方改革の推進も求められているが、市民サービスの低下も考えられることから、廃棄物減量等推進審議会で在り方を協議していく。
 ④有効なものと認識しており、締結に向けた協議を進めている。

自主防災組織の在り方について問う

議員 ①自主防災組織とは。市内の自主防災組織の現状と課題は。
 ②自主防災組織への支援策は。③自治会未加入の方等への自主防災組織への関わり方や情報発信等に積極的に取り組んでいたいただきたいか。
 市長 ①自分たちの地域は自分たちで守るという自覚、連帯感

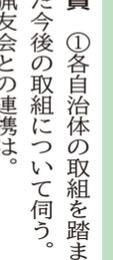
に基づき、自主的に結成する組織である。青梅市地域防災計画では、市と協力して災害応急対策を行う組織と位置付けている。
 ②11の地区で組織され、それぞれ防災対策等を行う委員会を結成して活動している。自主防災組織の中心となる団体である自治会加入率の低下等が課題である。
 ③委員会への運営費交付金の交付や防災リーダー講習会等を開催するなど、地域防災力向上のための支援を行っている。
 ④広報おうえ、ホームページ等を活用し、情報発信に取り組んでいる。自主防災組織連絡会で、参加しやすい工夫や更なる活性化について、協議していく。

獣害対策について問う

議員 ①各自自治体の取組を踏まえた今後の取組について伺う。
 ②猟友会との連携は。
 ③トレイルカメラ等を活用して野生動物の個体数を把握しては。市長 ①小動物の処理について、今後も猟友会と意見交換を行っていく。獣害報告アプリの早急導入を検討する。クマ出没に對し、近隣自治体の取組も参考に、有効な対応を周知していく。
 ②今後も、青梅猟友会および青梅警察署と意見交換等を行い、引き続き連携を図りながら適切に対応していく。
 ③個体数の把握は難しいが、目撃情報以外で野生動物の情報を得られる手段であるため、効果等について研究していく。

所有者不明土地の対策について問う

藤野 ひろえ 議員 (共産)



議員 ①所有者不明土地の認識は。固定資産税の課題は。市民

からの苦情や相談、対応は。
 ②国・都の動きは。
 ③土地政策推進連携協議会に加入し、より良い地域づくりを進めては。
 市長 ①公共事業等の阻害や、隣接する土地等に悪影響を及ぼすなど、市民にとっても身近な問題である。固定資産税を課税できず、市税収入に影響を及ぼしている。雑草等の苦情・相談が寄せられているが、現状では対応が困難な状況にある。
 ②国は、「所有者不明土地の利用の円滑化等に関する特別措置法」を施行補助金を整備した。都は、所有者不明土地を円滑に利用する仕組みを設けている。
 ③関東地区土地政策推進連携協議会に加入し、課題について協議している。

吉野梅郷梅まつり等の観光施策について問う

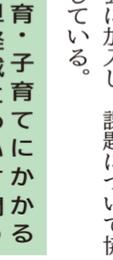
議員 ①梅まつりの来園状況、開催に向けた会議内容は。
 ②インスタグラムでの発信、マスコミ活用は。「令和の梅」などのアピールを行っているか。
 ③神代橋通りの梅樹管理を都へ移管できないか。
 ④駐車場やトイレ等の整備は。市長 ①令和5年度の「梅の公園」の来園者数は、2万3963人であった。会議では、ポスターの選定、イベント企画などを協議している。
 ②本年度は、インスタグラム発信回数を大幅に増やしており、梅まつりの発信も昨年度より増やす。マスコミ各社に情報提供を行う。「令和の梅」などは、リーフレットに案内を掲載する。
 ③都に移管することは難しい。
 ④「おうえ観光戦略」で取組施策の一つとしている。本年度、「梅の公園」の園路の改修の準備を進めている。

教育・子育てにかかる負担軽減について問う

議員 ①義務教育にかかる費用の保護者負担の軽減が必要と考えるか。こどもまんなか応援基金の活用は。
 ②修学旅行費用や特認校通学者の通学費の補助等を実施しては。
 ③市の奨学金制度の内容は。
 ④国に対し、国の責任で給食費無償化、大学費値上げの中止、奨学金制度拡充等を要望しては。教育長 ①現状の助成や支援で、一定の負担軽減が図られているものと考え、現時点で助成等の拡大の予定はない。
 ②帰宅時のバス借上げ料を負担している。特認校への就学要件を、通学は保護者負担と定めているため、助成は行っていない。
 ③青梅市育英資金助成条例に基づき、高等学校、大学等への就学に際し、市が利子補給の契約を締結した金融機関から奨学金の融資を行っている。
 ④市長会、都市教育長会を通じ、教育施策および予算措置に関する要望を行っている。

S&Dたまごセンター階多目的ホールの防音性能向上のための改修について問う

ぬのや 和代 議員 (立憲)



議員 ①ホームページに、多目的ホールは、「防音」とあるが、事実とかけ離れた現状に対する見解を伺う。
 ②防音性向上への対応策は。防音性能の公開調査をすべきでは。
 ③施設課に建築士資格を有する職員などの専門人材を活用できないか。
 ④市長会、都市教育長会を通じており、改修の考えはない。
 ⑤防音機能を持った建具が設置

されているため、調査や改修を行う考えはない。避難経路として、東京都火災予防条例に基づいた検証が必要であり、容易に整備することは難しい。
 市長 ③各職員は、外部へ委託するのみでなく、自らも調査、設計を行い、工事の発注業務を担うなど、専門の職員として活躍している。
 東青梅1丁目地内諸事業用地における全体事業スケジュール(案)の検証を
 議員 ①福祉センターは市民ホール建設予定地と重ならないため、必ずしも事前に解体工事を行う必要はないのでは。
 ②法面補強等の設計を早めることで、オープンの前倒しが可能となるのでは。
 ③市民ホールにこども家庭支援センターと大型児童センターを併設する必要があるのか。
 教育長 ①福祉センターは耐震性の問題から、早期に解体することとしている。また、早期に更地にする事で、跡地利用の協議が進展するものと考ええる。
 ②御提案の設計を早めても「基本設計・実施設計」および「建設工事」に影響は生じないため、全体のスケジュール期間を短縮するには至らない。
 ③文化複合施設は市民ホールや大型児童センターなどの公共施設を複合化する施設であり、現在、文化複合施設整備特別委員会にて御議論いただいている。

会計年度任用職員の5年雇止め廃止について問う

議員 ①青梅市の月給制の会計年度任用職員数は。そのうち、今年度および来年度に雇止め対象となる職員数は。
 ②5年雇止め廃止についての市の方針は。
 市長 ①月額で報酬を定めている職員は51人である。来年度に

向けて新たに公募の必要がある職は18人であり、来年度をもって4回目の任期更新が満了する職は3人となっている。
 ②国や総務省の制度改正の背景を踏まえ、「公募によらない再度の任用」の上限回数については、廃止に向けた検討を進めている。
 ※他の質問：「子どもの遊び場整備について問う」風の子・太陽の子広場の親水施設の水質改善と新田山公園ログハウスの管理について

市内道路の安全確保について問う

議員 ①路面表示の管理者は。区画線の状況確認はしているか。
 ②市が行うべきところは、しっかりと対応してほしいか。
 ③畜産試験場西側の2車線道路の路上駐車に対し、市の対応は。市長 ①交通規制に関する表示は警察、構造に関する表示は市や都等の道路管理者が管理する。職員によるパトロールや市民等からの情報提供などにより、確認を行っている。
 ②状況把握を十分に行い、限られた予算の中で、計画的に行っていく。
 ③警察に情報提供を行った。引き続き連携し、対応していく。

西多摩の雄とはII わだかまりの脱出

議員 ①市長就任から1年、西多摩の雄となるべく、どのような取組をされてきたか。
 ②西多摩地域広域行政協議会審議会で、「西多摩の連携を図り世界に打って出る」と挨拶されたが、考えを伺う。
 ③福生市長選挙は行かなかったが、衆議院選挙の応援に行った理由は。
 ④西多摩地域の連携・協力の推進と、選挙は、別次元の事であるから、西多摩地域の首長選挙には行かない、というお考えか。
 市長 ①西多摩地域広域行政協議会の会長職を担い、パネルディスカッションに登壇するなど、連携強化を呼びかけた。
 ②インバウンド対策を、より強固な連携の下、推進していきたいとの想いから申し述べた。
 ③20年以上にわたり、国政を

市議会の状況確認はしているか。
 ②市が行うべきところは、しっかりと対応してほしいか。
 ③畜産試験場西側の2車線道路の路上駐車に対し、市の対応は。市長 ①交通規制に関する表示は警察、構造に関する表示は市や都等の道路管理者が管理する。職員によるパトロールや市民等からの情報提供などにより、確認を行っている。
 ②状況把握を十分に行い、限られた予算の中で、計画的に行っていく。
 ③警察に情報提供を行った。引き続き連携し、対応していく。

担ってこられた功績への敬意と、本地区と一緒に盛り上げていた... 紙等へ掲載し広く紹介していく。



市立小中学校の学校教育および今後の学校像について問う 野島 資雄 議員 (公明)

議員 ①御岳山への宿泊事業について、保護者や教職員等からの評価、課題等を伺う。

②学校施設のあり方審議会のアンケート調査の結果は。

③調査で特に重要視した事項は。

④未就学児の調査対象を、年長児の保護者のみとした理由は。

今後の青梅市の学校教育、学校像について教育長の所信を伺う。

教育長 ①概ね高い評価をいただいている。夜間児童の見守り、教員の働き方改革等課題もある。

②児童・生徒や保護者等を対象に実施した。ある程度の学級数を有している場合の方が満足度が高いなどの傾向が見えた。

女性活躍社会の推進について問う

市長 ①人材を発掘する取組を検討する。講演会の開催や情報紙等へ掲載し広く紹介していく。②専門的・技術的業務、事務的業務、管理業務、一般作業等に分類される。男女比は、おおむね8対2の割合である。

審議された議案と陳情の議決結果

賛否が分かれた議案

Table with columns for district, number, item name, decision result, and voting members (賛成, 反対, 欠席).

全会一致で可決された議案

Table with columns for district, number, item name, and decision result.

全会一致で趣旨採択となった陳情

Table with columns for district, number, and item name.

※会派の表示は次のとおりです。[自民...自民クラブ(無所属6人、自民党5人)、公明...公明党(5人)、市フ...市民フォーラム青梅・都民ファーストの会(無所属1人、都民ファーストの会2人)、共産...日本共産党青梅市議団(3人)、立憲...立憲民主党(1人)、維新...日本維新の会(1人)]

2月定例議会会議予定

Table with columns for date, time, meeting, and notes.

○会議予定は、変更になる場合がありますので、お問い合わせください。... 青梅市議会ホームページ QRコード

Articles including: 全員協議会から (12月11日), 青梅市議会災害対応訓練を実施 (11月20日), 特別委員会から (12月3日・12月10日), 文化複合施設整備特別委員会 (12月3日・12月10日), 総合病院建設特別委員会 (12月11日).